



NO. 836

令和元年

9月1日号

この広報紙は、環境に配慮したバージンバルブを使用しています。

広報



カタログポケット このアイコンを探してね



発行 八街市
編集 総務部秘書広報課
発行日 毎月1日・15日
〒289-1192
千葉県八街市八街ほ35番地29
☎ (043) 443-1111
FAX (043) 444-0815
ホームページ
https://www.city.yachimata.lg.jp/

人口の動き 8月1日現在 人口69,754人(前月比+59人) 男35,652人女34,102人世帯数31,765世帯

9月1日は防災の日

いざという時に困らないために

災害はいつどこで発生するかわかりません。災害が起きた時に、あわてずに行動できるよう「自分の身は自分で守る」という「自助」の意識を持つことが大切です。

日ごろから避難場所や非常持ち出し品を確認し、地域の防災訓練や各種講座に参加をして、いざという時の行動力を高めましょう。

また、となり近所の協力も必要となります。「自分たちの住む地域は自分たちで守る」という「共助」の意識を地域の皆さんで共有し、災害が起きた時に町内会、自治会、事業所などが地域ぐるみで協力して、助け合うことができるようにするために、「自主防災組織」の結成など地域が一体となった協力体制の整備が重要です。

この機会に、あらためて家族や地域の皆さんで話し合ってみてはいかがでしょうか。

防災課 ☎ 443-1119

家にいるときに地震が起きたら、あわてずに次のように行動しましょう！

- ①地震が起きたら、丈夫なテーブルの下にかくれて、揺れがおさまるのを待ちましょう。
②揺れている最中は、屋外に飛び出すことはやめましょう。
③火を使っていたときは、揺れがおさまるのを待ってから火を消しましょう。
④揺れがおさまったら、ドアなどを開けて出口を確保しましょう。家の中を歩くときでも、けがをしないようにスリッパなどを履くようにしましょう。
⑤ヘルメットや防災ずきんをかぶり必ず靴を履いて、徒歩で避難しましょう。持ち物は、非常持ち出し品など必要最小限にしましょう。
⑥災害による混乱に巻き込まれないように、ラジオやテレビで正しい情報を入手し、落ち着いて行動しましょう。

1週間分の食料と水を備えよう

食料と水は、災害に備えて最低3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう。

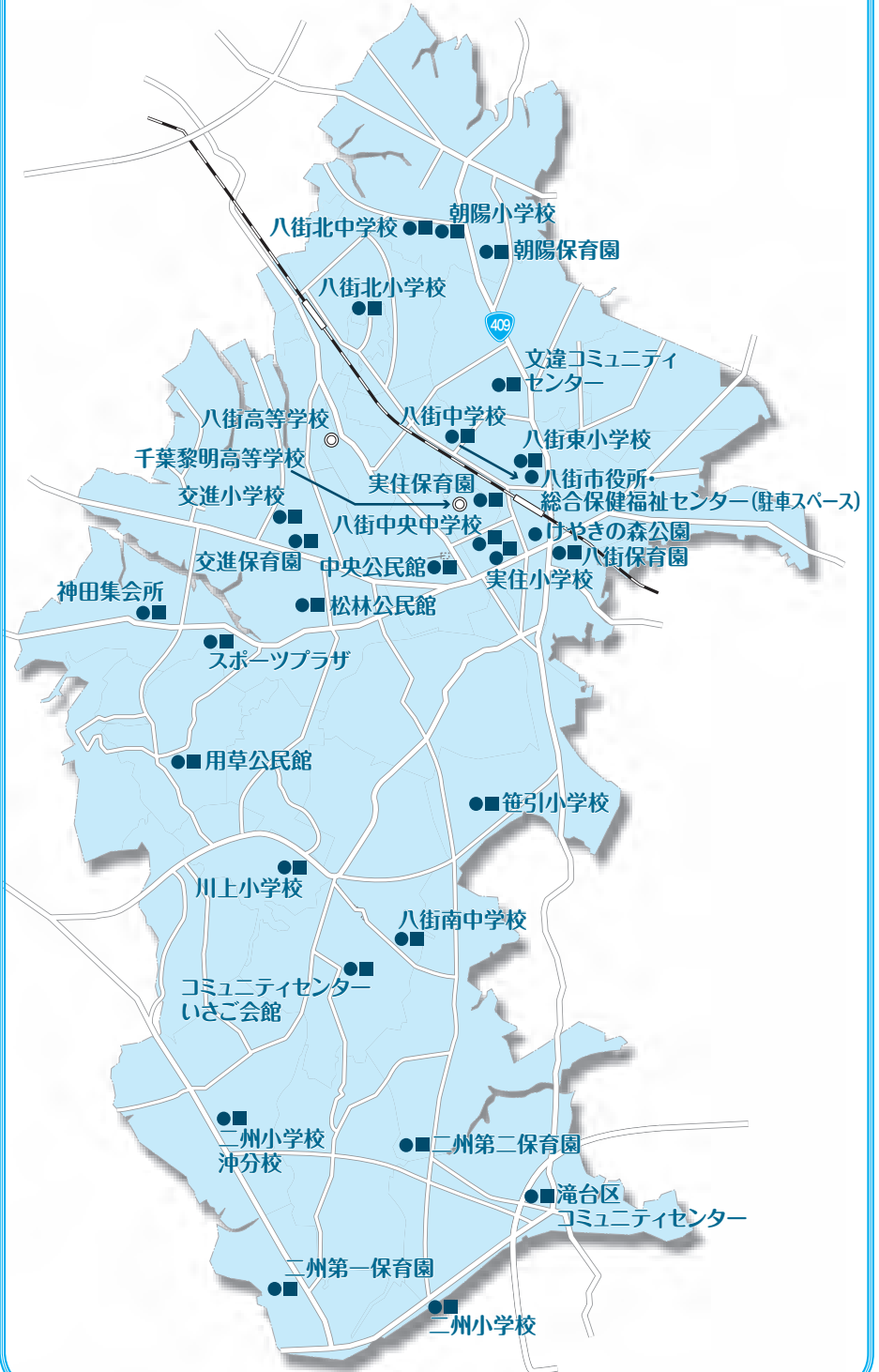
食料 米やアルファ米、レトルト食品や缶詰、カップ麺など非常食3日分程度を含む1週間分を備蓄しましょう。

飲料水 水(飲料と煮炊き分)は大人1人1日あたり3リットルが目安です。

その他 燃料、衣類、工具類などの準備もしておきましょう。

市内指定緊急避難場所・指定避難所など

●で表示している場所が「指定緊急避難場所」、■で表示している施設が「指定避難所」、◎で表示している施設が「協定締結による避難所等」となります。
【●指定緊急避難場所とは】
災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れ、身の安全を確保するための場所です。
【■指定避難所とは】
災害の危険性があり避難した住民などを災害の危険がなくなるまで必要な間滞在、または災害により家に戻れなくなった住民などを一時的に滞在させるための施設です。
家族で、または地域で協力しあい、被害を最小限に食い止める態勢を整えましょう。



木版画を楽しみませんか

千葉県黎明高等学校開放講座として「木版画教室」を行います。木版画で年賀状づくりを楽しんでみませんか。千葉県黎明高等学校の先生方が楽しく教えます。
9月21日、10月5日・19日、11月16日(各土曜日・全4回)
午後1時～3時
千葉県黎明高等学校
市内在住・在勤の方(小・中・高校生は除く)
定員 20人(申込順)
費用 4000円(教材費)
※彫刻刀(三角刀・平刀・丸刀・切り出し刀)、バレンをお持ちの方は2000円です。

お持ちの方は2000円です。
9月5日(木)午前9時～10時
は中央公民館1階中会議室
で、10時以降は中央公民館
窓口で受け付けます。翌日
から9月17日(火)までは、中
央公民館窓口で、平日午前
9時～午後5時まで、定員
に達するまで受け付けます。
費用を添えてお申し込みく
ださい。

※申し込みは、1人で1人分(代理可)とし、電話での申し込みはできません。
☎ 社会教育課
443-1464



記号の見方

時

日

場

会

場

内

容

対

象

定

員

費

用

申

込

切

り

持

持

ち

物

問

い

合

わ

せ

FAX

444

0815